

2018.4.26 全員集会

## 金沢ハイキングクラブ（KHC）について

会長、副会長、事務局

?

まず質問です



# 質問

---

1. 規約をもらった気がするけど読んだこと無い。
2. 運営委員会って何をやってるのかよくわからない。
3. 徴収した会費は何に使われているか知りたい。
4. 遭難対策保険に関してよくわからない。
5. 会報を一度も担当したことがない。
6. まだ入会して1年未満だ。
7. KHC、実はなんだか面倒そう・・・。

**ひとつでも「はい」があれば、少し話を聞いて下さい**

金沢ハイキングクラブ?



# 金沢ハイキングクラブの目的と活動

---

## 第2章 目的と活動

第3条 このクラブは、ハイキングを通して心身を鍛え、**会員相互の交流並びにハイキング技術の普及と向上**をはかり、**安全登山**につとめる。

第4条 このクラブは、前条の目的を遂行するため、次の活動を行う。

1. 月1回以上のハイキング（例会ハイキングと呼ぶ）
2. 定期的な会報の発行（月1回）
3. 会員を広げる活動
4. 講座の開設などの教育活動
5. その他、目的遂行に必要な活動

# 活動方針（総会資料より）

---

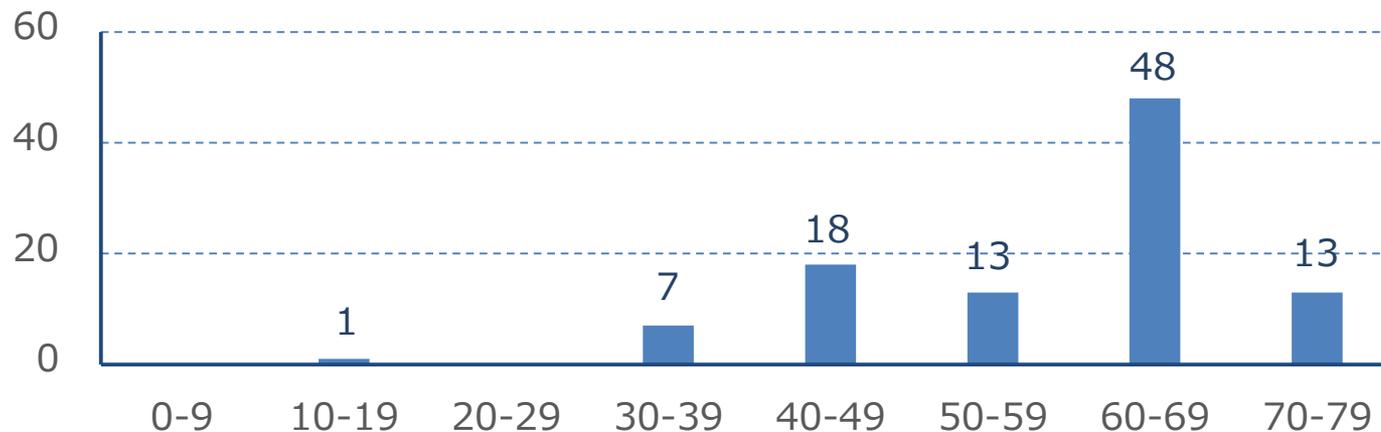
1. 安全で楽しいハイキング・登山の普及に努める  
→ **教育講座、新人学習会、遭対保険への加入**
2. 会員みんなが会の運営に係り、クラブ活動を支える  
→ **運営委員、会報作成、例会報告**
3. クラブの原則をふまえ、幅広いハイキング活動を大事にする  
→ **様々な例会計画、参加、個人山行**
4. 自然を愛で、環境保全にも意を尽くす  
→ **清掃登山、登山道整備**

なので、単に**山を登るだけの団体ではない**のです。  
会の運営、山行計画・報告、会報作成など**会員全員**で行う。

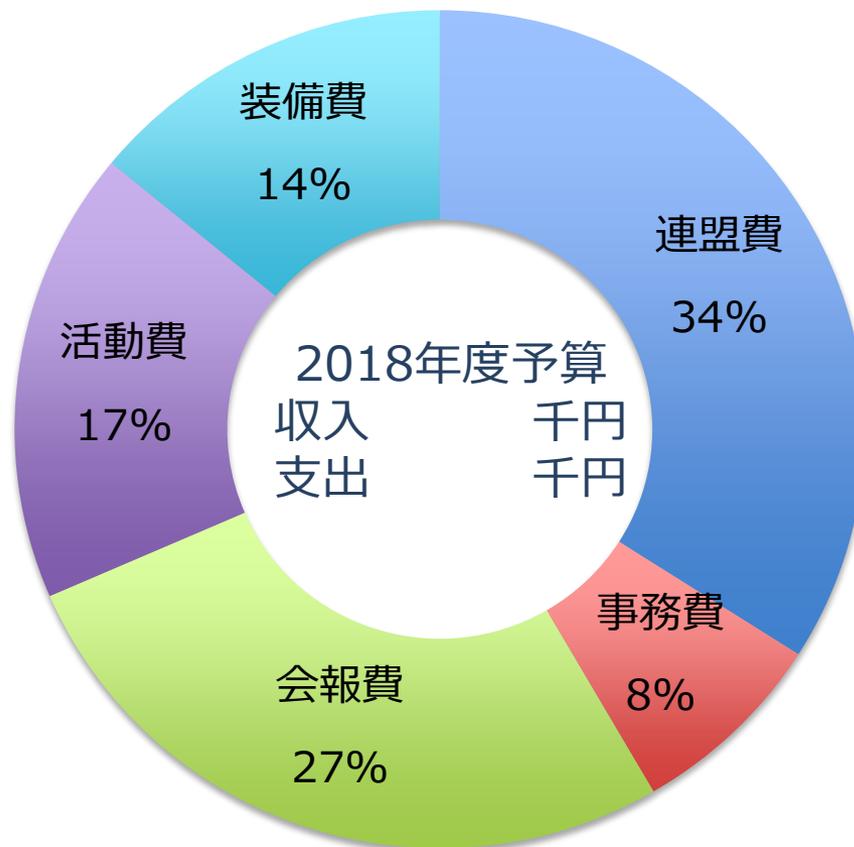
# 会員数

2018年4月1日現在

100名（男性 49名、女性 51名）、OB会員 5名



# 今年度予算



**連盟費1/3、会報費1/4、活動費・装備費1/3**  
**今年度は赤字予算 (備品 (テントや無線機) 購入のため)**

# 運営委員会

---

- **会長、副会長**：会の代表
- **事務局**：運営委員会の招集、各部の調整など
- **ランク部**：計画書・例会のチェック、管理など
- **組織部**：入退会、会員名簿の管理など
- **企画部**：例会の企画
- **教育部**：新人教育、安全教育など
- **HP部**：ウェブサイト管理など
- **会報部**：会報作成のサポート
- **県連理事**：県連との連携
- **会計、遭対旅行保険**：経理、保険の管理

**総勢26名（約1/4の会員）**

# 勤労者山岳連盟（6月の教育講座）

---

- 県連：県内7団体が所属
- イベント：労山まつり、チブリ尾根整備、会間交流登山
- 教育講座：ステップアップ講習会など
- 遭対保険（後述）
- 特典：各種教育講座への参加  
山小屋や宿泊施設の割引  
専門店（石井スポーツなど）の割引



いろいろメリットありますよ

**あのう、例会で山に登りたいんですが**



# 例会山行の流れ

---

前年12月頃	例会提案	企画部
2ヶ月前	例会チェック@運営委員会 (必要があれば下見)	ランク部、運営委員 CL
1ヶ月前	全員集会で報告	CL (SL)
1週間前	計画書作成 計画書チェック	CL、組織部 (名簿) ランク部
当日	例会山行 下山報告 保険	会員 CL→ランク部
山行後	山行報告書 (Wordファイル) 山行報告 (ウェブサイト)	SL作成、ランク部チェック 参加者作成、HP部
1ヶ月後	山行報告 (会報)	SL作成、会報班、会報部

A ginger and white cat is lying on a wooden bed frame. The cat has a white chest and belly with ginger patches on its face and legs. It is looking towards the camera with a slightly grumpy or annoyed expression. The background is a plain, light-colored wall.

うーん、なんか大変そう・・・。  
なんでこんな面倒なことをするの！？

# 最近の事故例 1

---

4月6日 テレビ金沢より

著作権のため削除

# 最近の事故例 1

毎日新聞websiteより

## 著作権のため削除

男性が発見された林道近くにある「医王の里」には雪が残る＝金沢市で、岩壁峻撮影

### 金沢の男性、キゴ山近くで凍死

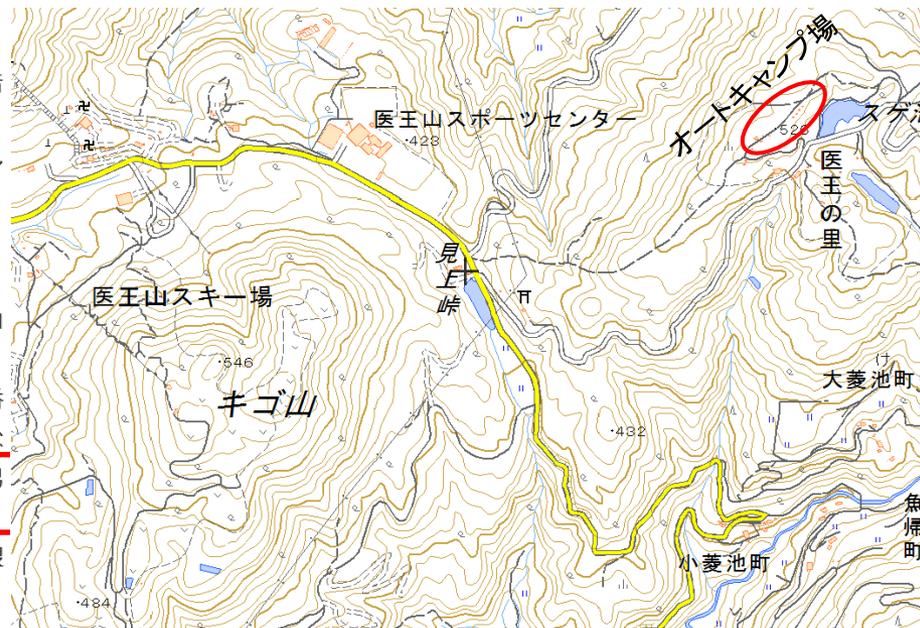
「春山に登ってくる」。今月4日、そう告げて家を出た金沢市の男性（当時60歳）が、山中で凍死した。本格的な登山シーズンの前に、県警や山岳関係者は「基本の徹底」を呼びかけている。【岩壁峻】

金沢中署によると、男性は4日午前に登山に出かけ、帰宅予定時間を過ぎても戻らなかったことから、家族が同日深夜に110番通報した。男性は詳しい行き先を伝えていなかったといい、同署は家族の話などから、男性が同市俵町のキゴ山（標高546メートル）周辺に向かったと判断。5日に一帯を捜索した。

キゴ山は、冬はスキー、春はハイキングの人でにぎわう。市キゴ山ふれあい研修セン

ターの出島大・担当所長補佐は「教諭らの引率があれば、小学生でも気軽に登ることができる」と話し、「遭難場所」とされたことをいぶかった。

6日午前男性が見つかった場所は、キゴ山から約1～2キロ離れた同市大菱池町の医王の里オートキャンプ場付近の林道。周辺には雪が残っていた。目立った外傷はなく、同署は夜間に気温が低下したことで男性が衰弱したとみている。日帰りの予定だったこともあり、上着はジャンパーのみだったことも響いたとみられる。



**遭難理由：道迷い、滑落**  
**単独、計画書なし**  
**装備不足**

# 最近の事故例 2

---

10月18日 ニュース7 (NHK) より

著作権のため削除

# 最近の事故例 2

Yomiuri Online より

## 旭岳遭難 男女4人、岩陰で風よけ命つなく

2017年10月20日



生地張り体温保つ

著作権のため削除

4人は岩場で身を寄せ合い、ツェルトとみられる生地(左下の白いもの)を張って風をよけていた(18日夜、道警提供)

東川町の大雪山系・旭岳(2291メートル)で遭難した男女4人が19日、道警のヘリコプターで救出された。4人は氷点下の山中で、岩陰を利用して簡易テント(ツェルト)のような生地を張り、体温を奪われないようにして救助を待ったことが生存につながった。4人は旭川市内の病院に搬送後、安静のために入院した。

道警によると、横浜市神奈川区、治療院経営加藤昌彦さん(71)と妻の由美子さん(65)は17日午前8時半頃から、大雪山旭岳ロープウェイ姿見駅を出発した。その後ろをマレーシア国籍の会社員ロン・ジ・ユンさん(27)と、シンガポール国籍のデザイナー、リム・シン・イ・アメルダさん(28)が登っていた。

天候が悪化し、加藤さんらは8合目付近で引き返したが、登山道を外れて遭難。同日午後6時頃、姿見駅から南東約2キロの発見場所の沢筋にたどり着いたという。疲労困憊で動けなくなり、岩陰の約2メートル四方の平らな場所に生地を風よけに張り、外気で体温を奪われないようにした。

翌18日午後5時45分頃、道警山岳遭難救助隊は加藤さんらの足跡を発見。たどっていくと空に向けて照らされていたヘッドライトの光が見えた。「大丈夫ですか」。隊員が声を掛けると、「大丈夫です。全員生きています」。しっかりとした返事と歓声が上がった。

発見された際、加藤さん夫妻は、薄手のダウンジャケットに雨具を重ね着し、登山靴にポリ袋をかぶせて救助を待ち、低体温症とみられるロンさんは断熱シート上に寝かせられていた。4人は、救助隊が設営したテント内で体を温め、お汁粉やあんぱんなどを食べて一夜を過ごした。

## 記事から予想される発見地点



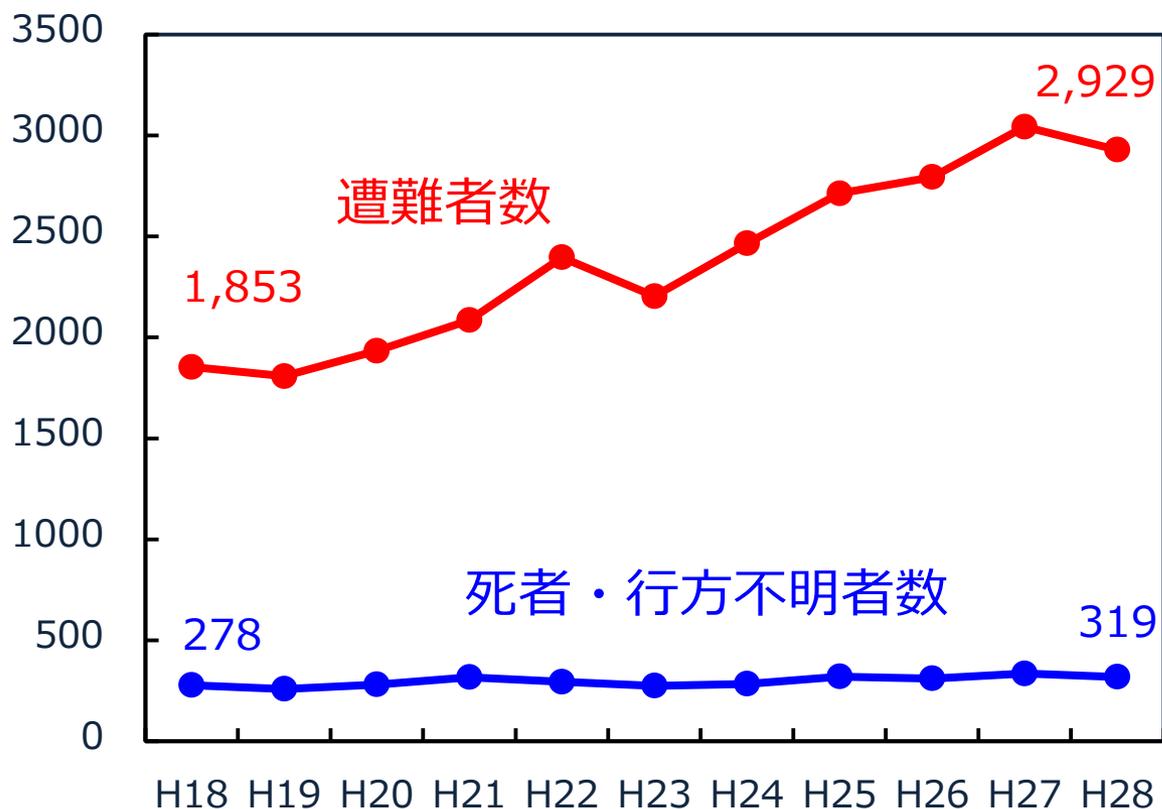
遭難理由：道迷い、悪天候

生還理由：準備と強運

知識大事！

# 遭難者数と死者・行方不明者数

警察庁「H28年における山岳遭難の概況」から作成



多いのか？少ないのか？

# 遭難や事故にあう確率は？

---

- 登山人口 972万7千人  
(総務省 H28年度社会生活基本調査)
- 遭難者数 2929人 (先程の警視庁のデータ)
- 遭難確率 **0.03% (3000人に1人)**

ちょっと別のデータ (日本勤労者山岳連盟)

- 事故者数 299人 (ろうざんニュース(2017.4.1))
- 会員数 約2万5千人
- 事故確率 **約1.2%(83人に1人)**

本クラブ 100人前後

**毎年1回は事故があってもおかしくない**

# では、遭難したらいかほどかかる？

---

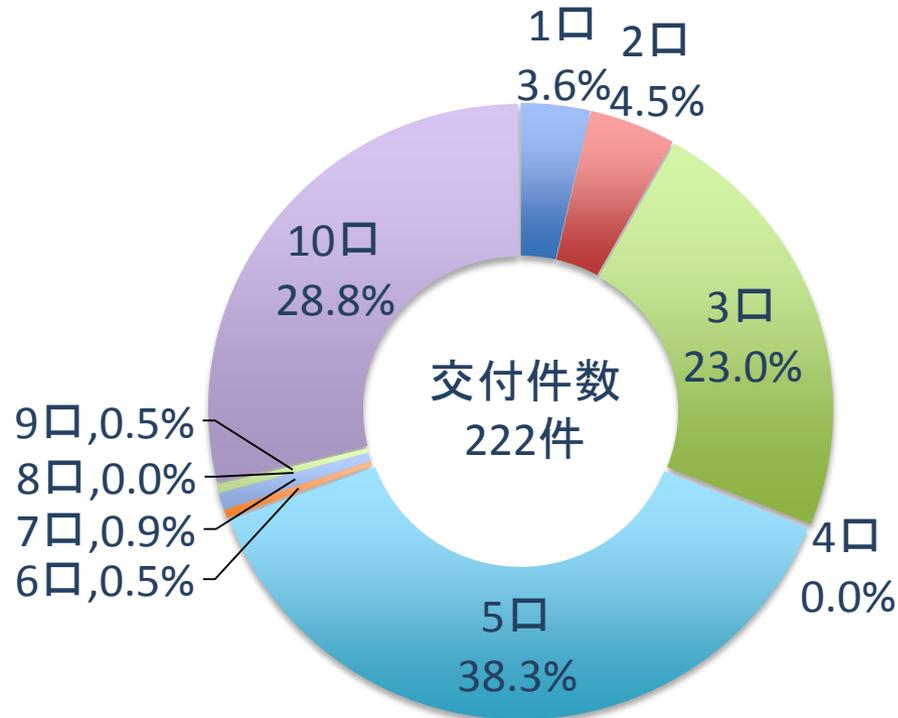
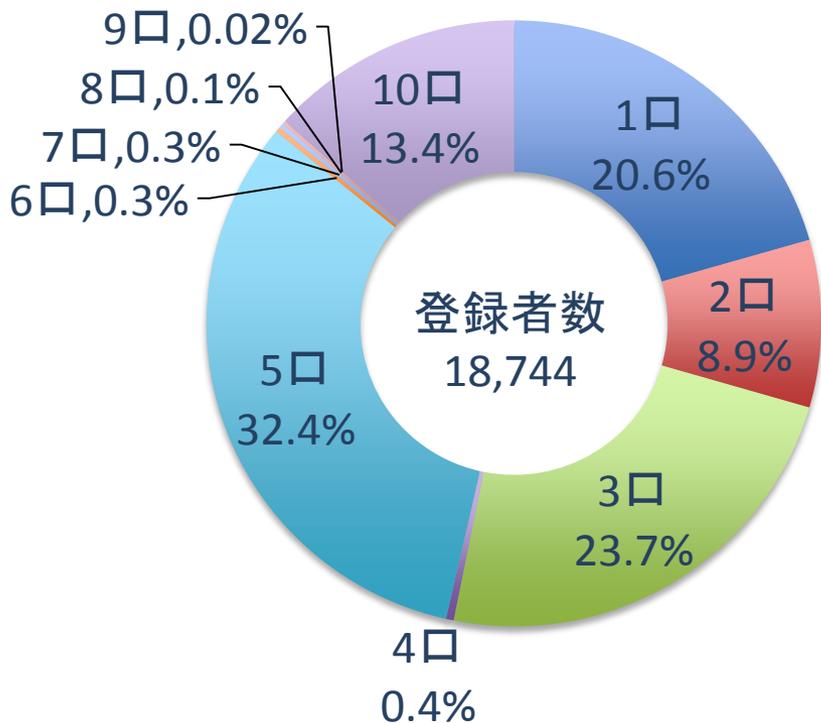
- 公的機関（警察、消防）は無料
- 捜索隊日当・経費（10人）5万円/人×10人 = 50万円
- ヘリコプター（1時間）1万円/分×60分 = 60万円
- 3日間捜索 = **150万円**（民間ヘリ付 **330万円**）
- 捜索費用はすべて**個人負担**です（例会も）

## なので、遭対保険

- 日本勤労者山岳連盟 「山岳事故対策基金」
    - 救助、捜索：300倍（最高400倍）
    - 一口1000円/年
- **5口で150万円、10口で300万円**

# 何口入ればいいのか？

※新特別基金交付金データより



ハイキング・軽登山

雪・岩・沢

冬季登攀・海外登山

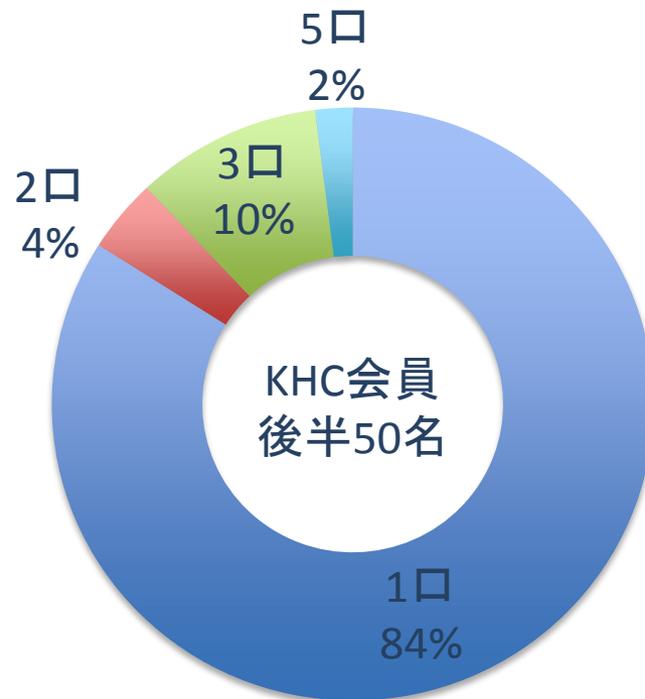
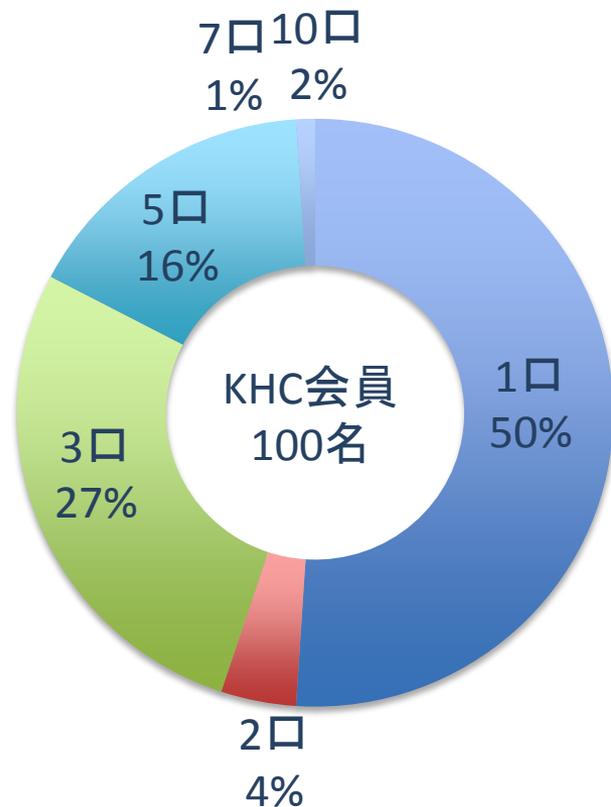
3口

5口以上

10口

※労山基金のQ&Aより

# 何口入ればいいの？



**1口→3口**、3口→5口、5口→10口  
特に新入会員の方、考えてみませんか？  
年度の途中からの口数変更は可能です

# 他との比較（初年度）

項目	山岳事故対策基金	JRO	モンベル 山岳保険シンプルプラン
保険料	1口 1000円/年	約4000円	8270円/年
死亡	登録金額×200倍	20万円（搬送費）	
救助費	登録金額×300倍 低山の場合は更に3倍	330万円	500万円 (冬山は150万円)
入院費	<b>口数×800円/日</b>	なし	なし
通院費	<b>口数×400円/日</b>	なし	なし
雪山	OK	OK	OK
海外	OK	NG	NG
個人賠償	なし	なし	1億円
備考			病気や体調不良が原因の場合は出ない。

# さらに

---

- 遭対保険は搜索終了し**書類提出後**に振り込まれる。
- 書類作成は誰がやる？家族？？  
分厚い書類（20P程度）と格闘し警察や消防と連絡し、  
搜索状況の詳細などを地図を交えて作成する必要  
（希望的観測ですが、**会の誰かが手伝ってくれるはず**）
- 本クラブでは 円程度の立替（要返済）可能。
- 県連や全国連からも 円程度の借り入れ可能。

山岳会、ハイキングクラブに所属しているメリットのひとつ

# ただし

- 山行計画書を出してください！  
（個人山行でも）
- 山行計画書が未提出の場合は  
保険は出ません

The image shows a complex mountain hiking plan form. It features a header section with fields for the hiker's name, date, and other personal information. Below this is a large table with multiple columns, likely for recording route details, distances, and dates. At the bottom right of the form, there is a small map of Japan with a red line indicating a specific hiking route. The form is filled with text and has a structured layout typical of official documents.

# こんなものもあります



- 労山会員は期限付きで入会金無料
- 居場所の特定が容易
- 10円／日は高い？安い？
- 別所にヘリの基地
- 失踪宣告は7年後



遭対保険でクラブにいるメリットはわかった。  
他にクラブにいていいことある？  
遭難しない確率を上げたい

# 全員集会での教育講座

	内容	担当
4月	KCHとは（方針、組織、運営）、会員の務め（捜対保険）	会長、事務局
5月	KHCランク制、例会案内の見方	ランク部
6月	全国連、県連とは	県連
7月	事故・病気・悪天などのアクシデント時の対応・判断・救助	教育部
8月	会報の作り方	会報部
9月	ロープワーク、例会企画立案の仕方	有志会員
10月	冬山装備	教育部
11月	（運営委員候補者選出）	事務局
12月	カシミール3D・スマホ地図の使い方	HP部
1月	次年度例会山行企画案について	企画部
2月	体力測定	事務局
3月	（総会）	事務局

**教育講座は結構魅力的です**

# 教育部や県連の講習会

## 本クラブの教育部担当

5月27日(日)	新人学習会	キゴ山ふれあいの里
11月18日(日)	新人学習会	キゴ山ふれあいの里
1月20日(日)	ワカン講習会	旧瀬女スキー場
3月17日(日)	ピッケル・アイゼン講習会	セイモアスキー場
10月下旬	ステップアップ講習会	
12月9日(日) 1月26日(土)-27日(日)	北陸地方雪崩講習会 机上 実技	

**新人学習会はベテラン会員も参加できます**

# あとは体力

- きつさに耐える体力のこと = メッツ  
(安静時の何倍のエネルギーを消費するかを表す数値)

厚労省「健康づくりのための運動指針2006」

メッツ	内容
3	ボーリング、バレーボール
3.5	ゴルフ
4	卓球
4.5	バドミントン、ゴルフ
5	野球
6	バスケットボール
7	サッカー、テニス、 <b>登山(300-400m/h)</b>

**登山って意外とハードなんです**

# 例会への参加

---

- 登山の体力は登山で得られる。  
月に2回くらいが目安（って誰かが言ってた）  
±2000m/月という記事も
- 本クラブは例会数が多いので、どんどん参加して下さい。
- 例会の企画もお願いします。



**ただし本クラブはツアー会社ではありません**

# クラブの例会山行とツアー登山の違いは？

## ツアー登山の問題点

- 体力、経験、技術などのバラツキが多い
- メンバーのお客さん意識
- 問題発生時の意見相違 → 仲間割れによる**安全登山の崩壊**

全員の意識統一のためにルールが必要 → **パーティ山行**



# パーティ山行での役割

## 【CL】（SLはCLの補佐であり相談相手）

- メンバーの状況把握（各人の体力度合、体調、装備など）
- コース状況（急登、滑りやすい）、ペース配分の指示
- 計画遂行が困難な場合、撤退など判断
- 判断基準は**メンバーの安全と無事な下山（冷静に！）**
- 体調不良者・けが人のサポート（**単独にしない**）

## 【メンバー】

- **CLの指示に基本的に従う**（安全下山が可能であれば従う）
- もちろん助言や提案はしてよい
- お客さん意識はダメ（登山は最終的には自己責任）
- 最悪の場合、**自力下山できる心構え**で！（計画書や地図を読む）
- 頼まれごと（車や会計、感想文など）はなるべく引き受ける

# ランク制（詳細は来月の教育講座）

- ランク制の目的：山行レベルの把握、参加者レベルの把握
- ランクの種類：
  - ・ 山行のランク（A、A健、B、B健）
  - ・ 個人のランク（A、B）

	A山行	A健山行	B山行	B健山行
個人ランクA	○	○	△※	△※
個人ランクB	○	○	○	○

※ 個人ランクA（A健山行を参加済）の会員でも、下記の場合BおよびB健山行に参加できることがある。

1. BおよびB健山行でランクテストが実施される場合

~~（2. 会員からの推薦がある場合）~~

→ 山行後、ランク部で審査・承認後、個人ランクBになる

**個人ランクBになり、いろいろな山行に参加しましょう！**

# 例会報告（会報やウェブサイト）

- 例会報告（山行報告）は後日の参考になる
- クラブの情報だと時間など想像がつく  
（ヤマレコなどは登山者のレベルがわからない）
- 個人山行に関しても機会があれば掲載して下さい

The screenshot shows the website of the Kanazawa Hiking Club (KHC). The header includes the club's logo and name, "金沢ハイキングクラブ Since 1981". A navigation menu is on the left. The main content area displays a hiking report for "鞍掛山 (478m) 小松市滝ヶ原町 ~新人歓迎山行<紹島部>~" dated April 22nd (Sunday). It includes details like the meeting location, route, and participants. A topographic map shows the route starting from the second parking lot (第二駐車場) near the Kagegaki River, passing through the first parking lot (第一駐車場) and Mt. Kagegaki, ending at Mt. Sanjishi (三童子山).

The image shows the cover of the club's newsletter, titled "会報" (Newsletter). It is issue No. 432, dated 2018. The cover features a colorful illustration of a river scene with a bridge, cherry blossoms, and a traditional building. The text "金沢ハイキングクラブ" (Kanazawa Hiking Club) is printed at the bottom.



**と、まあいろいろ説明しましたが、  
楽しく、安全に登山をしましょう**